

平成31年度・令和2年度

世田谷区立小学校教育研究会 研究推進校報告



自ら課題を見付け、友達と協力して
解決していくこうとする児童の育成
～情報活用能力の育成をとおして～



目 次

はじめに

I 研究の概要

II カリキュラム

III 実践事例

〈プログラミング〉

第1学年 「PETS プログラミングであそぼう1」～ロボットをうごかそう～ 他

第2学年 「PETS プログラミングであそぼう2」

～動きを予想しながらロボットを動かそう～ 他

第3学年 「スクラッチの基本操作を知ろう」他

第4学年 総合的な学習の時間「チャレンジ バリアフリー」他

第5学年 算数「正多角形と円」他

第6学年 「情報と生活」

〈情報モラル〉

第1学年 特別の教科 道徳 おおひとやま「すこしぎらい」

第2学年 学級活動「ゲームやタブレットにむちゅうになると」

第3学年 総合的な学習の時間「パソコンに親しもう」
「こんなメッセージがとどいたら、どうする？」

第4学年 「上手に検索」～情報を検索して、正しく選ぼう～

第5学年 「言葉や行動の受け取り方の違いを考えよう」

第6学年 「グループトーク」

IV 研究の成果と課題

おわりに



はじめに



校長 菅 原 展 生

新学習指導要領において情報活用能力は、言語能力、問題発見・解決力などの全ての学習の基盤となる資質・能力の一つとして位置付けられています。世田谷区でも、平成26年度より今後10年間の教育の方向性を示した「世田谷区教育ビジョン」の基本方針の一つとして「これからの社会を生き抜く力の育成」の取り組み項目に「ICTを活用した授業の推進」を挙げています。本校は、以前より情報モラルやプログラミング教育について実践や研究を重ねてきました。情報活用能力を育成していくために、児童がICT機器を活用し、主体的に課題解決に取り組めるよう、全ての教科においてICT機器を活用できる場面を設定した学習をできるだけ多く展開してきました。そして平成31年度・令和2年度世田谷区立小学校教育研究会の研究推進校として、研究テーマ「自ら課題を見付け、友達と協力して解決していくこうとする児童の育成～情報活用能力の育成をとおして～」の研究を進めてまいりました。しかし今年度は年度当初より、臨時休校から分散登校と、通常の授業を行うことができたのも6月末からでした。従来の授業実践を積み重ねた発表は難しく、また授業を公開しての発表も断念せざるを得ない状況でした。そのため、昨年度の研究内容と今年度実施できた実践での報告とさせていただきます。

また、こうした状況の中でご指導いただいた、柏市教育委員会 教育研究専門アドバイザー 西田 光昭先生をはじめ、講師の先生方に厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

